

沖縄県委託事業 令和7年度子ども科学技術人材育成事業
中学生・高校生を対象としたハイレベル型体験プログラム

海の生物多様性と わたしたちのつながり

= 募 集 要 項 =

子ども科学技術人材育成事業 運営事務局

1. 目的
本プログラムは、科学体験を通して専門知識・技術を身につけるとともに、論理的・批判的思考力やコミュニケーション能力を養い、将来の沖縄県の科学技術と産業振興を牽引する人材を育成することを目的とする。

2. 実施概要
実施日：第1回 2025年10月11日（土）～12日（日）
第2回 2025年10月25日（土）～26日（日）
会 場：国際海洋環境情報センター（以下GODAC）、名護博物館
※宿泊先 ホテルみゆきビーチ（予定）
主 催：沖縄県（企画部科学技術振興課）
協 力：GODAC、名護博物館

3. 参加費
無料 ※宿泊費、食事代（1日目の昼食・夕食 2日目の朝食・昼食）、保険料は主催者負担
ただし、休憩時間の飲料購入などの費用は自己負担

4. スケジュール（予定）

1 日目	2 日目
	7:00 朝食
	8:30 宿泊先出発→GODACへ
9:30 GODACに集合・受付	9:30 午前 プログラム③
10:00 午前 プログラム①	
12:00 昼食	12:00 昼食
13:00 午後 プログラム②	13:00 午後 結果のまとめ 発表と講評
15:30 名護博物館 プログラム	16:30 修了式
	17:00 解散（GODAC）
17:30 宿泊先へ移動	
18:00 夕食 （ワークショップ等実施）	
22:00 就寝	

5. 参加資格
・沖縄県内在住の中学1年生～高校3年生であること（受付時に学生証の確認を行います）
・指定テーマ（9. 小論文についてを参照）の小論文を提出すること
・全日程参加できること

※離島在住の方へ
初日の前日に本島へお越しいただきます。移動手段や宿泊（主催者負担）、空港・港から会場までの送迎は事務局が手配します。参加が決まりましたら、詳細を別途ご案内いたします。

6. 定員
- 1回目 20名、 2回目 20名
- (各回とも 高校生10名、中学生10名とする)
7. 応募締切
- 2025年 9月15日 (月・祝)
8. コース詳細 ※内容は変更となる可能性があります

コース	ハイレベルプログラム 1	
タイトル	海の生物多様性とわたしたちのつながり	
会場	GODAC、名護博物館	
講師	澤野健三郎氏（GODAC）、宮里ひな子氏（名護博物館）	
実施内容	1日目 9：30～17：00	2日目 9：30～17：00
	(午前) GODAC集合 自己紹介 プログラム概要説明 プログラム①実施	(午前) GODACにて プログラム③実施
	(午後) プログラム②実施 名護博物館での ワークショップ	(午後) 結果のまとめ 発表と講評

9. 小論文について

小論文テーマ

- ・あなたにとって「海」はどのような存在ですか。
- ・この講座で特に学びたい・経験したいことはなんですか。
- ・この講座で得た学び、経験をあなたの将来どのような場面で活かそうと考えていますか。

【採点基準】

- 1)明確な目的意識が認められるか
- 2)講座を受けた後の展望が明確であるか
- 3)海や自然に対する興味関心の高さが認められるか

※当該分野に関する予備知識や将来に対する意欲を審査します。

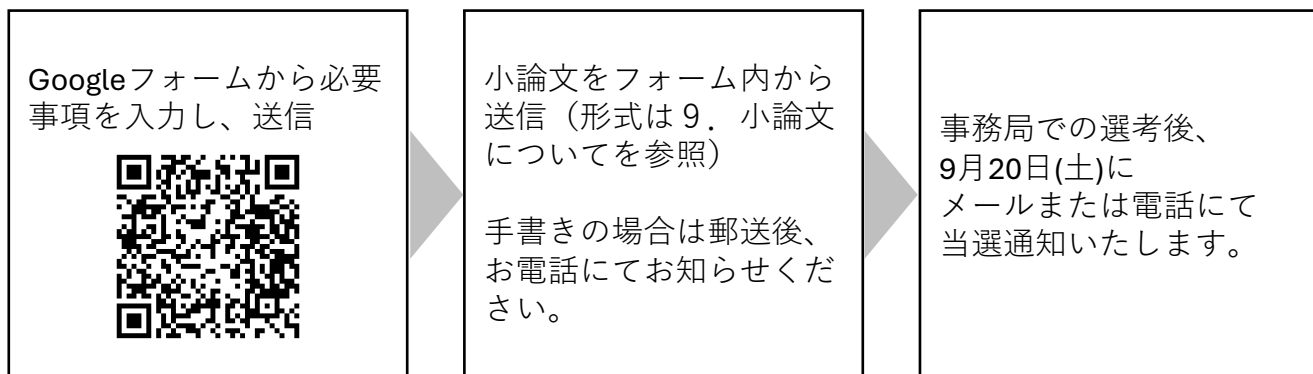
なお、選考結果に関わらず審査結果についてお答えすることはできません。

- ・文字数は**800字**以内にまとめてください。
- ・冒頭に「氏名」「論文タイトル」「総文字数」を記入してください。
※句読点は文字数にカウントします。
※「氏名」「論文タイトル」「総文字数」は文字数にカウントしません。
- ・パソコンやタブレットを用い、**A4縦型サイズ**に横書きで作成してください。
※メール本文へ入力し提出でも構いません。
※パソコン等がない場合は手書きのものを提出してください。
※手書きの場合は小論文を簡易書留またはレターパック等の追跡できる方法で郵送してください

2025年9月15日（月・祝）必着

郵送先：〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577番地
光文堂コミュニケーションズ(株) 村山直也宛

10. 応募から受付完了までの流れ



11. 問合せ先

子ども科学技術人材育成事業事務局

光文堂コミュニケーションズ株式会社 担当：村山、大城

TEL：098-889-1131（平日9:00-17:00） MAIL：murayama@kobundo.net

【イベント催行にあたっての安全性表示】

① リスク管理体制について

当イベントでは、会場内外の安全を確保するため、事務局スタッフ全員が、緊急対応マニュアルに基づいた体制を整備しています。

実験を伴うプログラムを実施する場合には、保護具など十分な安全を図ることを徹底します。（一例として、薬剤の場合は白衣、飛来物の場合はゴーグルなど科学実験の場合を想定し、準備をいたします）

② 保険加入について

万が一の事故やトラブルに備え、賠償責任保険に加入しております。

③ 医療・救護体制

会場内で緊急対応が必要となった際は、会場内診療機関のご案内、緊急搬送先への搬送も含めた対応をいたします。緊急搬送先候補：沖縄県立北部病院

④ 天候への対応

台風等による荒天が予想される場合は、イベント実施前日10時までに実施可否を判断し、参加者の皆様へご連絡いたします。

⑤ 感染症対策

ご参加の皆様におかれましては、37.5度以上の発熱など、風邪症状がある方は参加できません。マスク着用、手洗い・手指の消毒など、基本的な感染症対策をお願いします。なお、運営側は衛生管理として、適宜アルコール消毒、関係者の体調確認を徹底しています。

⑥ 会場設備の安全性（導線・転倒防止など）

会場内の導線確保、段差・コード類の転倒防止措置、立入禁止区域の明示など、会場内は安全に配慮したレイアウトを施しています。

⑦ スタッフの教育・訓練

運営スタッフには事前研修を実施し、緊急時の対応についての周知を行っております。

⑧ 来場者・出展者への事前周知

参加者全員に対して、事前に安全に関する注意事項をメールやWebページ等でご案内し、当日も会場でアナウンスを通じて周知を行います。

⑨ 緊急時連絡・避難誘導体制

緊急時には誘導スタッフの指示に従って、速やかに避難いただけるよう体制を整えております。

⑩ 休憩・水分補給

参加者・関係者の健康維持のため、イベント開催中は随時水分補給および適切な休憩時間を確保いたします。また、運営側からも適宜アナウンスを行うとともに、休憩スペースの確保と案内を徹底します。

⑪ スタッフ配置について

すべての来場者に安心してご参加いただけるよう、会場には男女両方のスタッフを配置しております。お困りの際は、どなたでもお気軽にお声がけください。